



平成 20 年 10 月 21 日

記 者 各 位

出光興産株式会社
(コード番号:5019 東証第 1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等をふまえ、平成 20 年 7 月 31 日に公表しました平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)の業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(1)連結

(単位:百万円、円)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	2,380,000	46,500	43,500	8,500	212.55
今回修正予想(B)	2,280,000	61,400	60,000	18,900	472.62
増減額(B-A)	100,000	+14,900	+16,500	+10,400	
増減率(%)	4.2	+32.0	+37.9	+122.4	
前期実績(平成 20 年 3 月期中間)	1,697,975	36,159	42,134	13,779	344.58

(2)個別

(単位:百万円、円)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	2,260,000	6,000	6,500	1,000	25.01
今回修正予想(B)	2,127,000	17,300	18,000	8,600	215.05
増減額(B-A)	133,000	+11,300	+11,500	+7,600	
増減率(%)	5.9	+188.3	+176.9	+760.0	
前期実績(平成 20 年 3 月期中間)	1,560,290	12,135	18,123	7,501	187.59

2. 業績予想修正の理由

(1) 連結

原油価格及び原料ナフサ価格が、前回想定した価格よりも大きく下落したことで、精製用燃料費等のコスト負担の減少やタイムラグの損失が減少するとともに、経費の繰延べ等に努め、一部経費を第3四半期以降へ繰延べています。

さらに、今年度より棚卸資産の評価期間を、年度別の後入先出法から四半期毎の後入先出法に変更しましたが、在庫数量の変動などにより前回予想時より評価益が増加いたしました。影響額は前回予想時対比 67 億円増となります。

上記の理由等から、前回予想対比で営業利益は 149 億円増益、経常利益は 165 億円増益、四半期純利益は 104 億円増益となる見通しです。

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	連結営業利益	在庫評価益	連結営業利益 (在庫評価影響を除く)
前回発表予想(A)	46,500	21,000	25,500
今回修正予想(B)	61,400	27,700	33,700
増減額(B-A)	+14,900	+6,700	+8,200

(2) 個別

連結と同様の理由で、営業利益、経常利益及び四半期純利益が前回予想を上回る見通しです。

なお、通期(平成20年4月1日~平成21年3月31日)の業績予想につきましては、現時点の石油や石油化学の情勢変化が極めて激しいことから、下半期の見通しを想定することが、却って誤った判断を招く恐れが多いと考えます。従って、現時点では平成20年7月31日公表の予想数値を据え置くこととします。

世界的な信用収縮による実体経済の減速を受け、石油・石油化学製品の需要減少、原油価格・ナフサ価格の変動及びその変化が製品マージンに与える影響など、先行きを見通すことが困難であることから、環境変化・経済動向を見極めた上で、明らかになり次第公表いたします。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上